

三宅やすし後援会通信 風 かげ 第54号

目次

トピックス……………1
第270回12月通常会議 ……2
議会のトピックス……………3
主な活動……………4
市政報告・ 出前講座のお知らせ…………4

◆トピックス～廃プラ発電施設について～2

三宅やすし

相去町中成沢の産業廃棄物焼却発電施設(廃プラスチック等を低温熱分解処理しガス化させて燃焼発電)建設に関し、北上市議会9月議会に県知事に対する「産業廃棄物焼却発電施設の設置に反対する意見書の提出を求める請願」が提出されました。案件は教育民生常任委員会に付託となり、残念ながら「継続審査」となりました。その後、常任委員会では事業者を呼んで意見聴取しました。

その席上、事業者側の一人が突然大声で『何も事業内容が決まっていないのに反対され、こんなところに呼び出されるのは不本意だ』という趣旨の発言があり、『事業内容についてもコンサルタント会社に委託しており、未定なので話す事はない』との事で、意見聴取になりませんでした。

更に、12月議会直前、委員会から事業者に確認したところ『委託していた計画書は出来たが事業の採算性などを検討している最中であり、まだ住民説明などをする段階ではない。事業を実施するかどうか未定で年内に結論は出ない』との事、またもや常任委員会の継続審査が行えない状況でした。

反対委員会は、2021年内に北上市議会教育民生常任委員会の委員や希望する議員との懇談会を開催しました。反対委員会からは土地利用の経緯などの説明があり、PTAからも児童への影響の懸念などが話されました。参加した議員からは意見書を県知事に出すにしても、何に対し、なぜ反対しているのか論点を明確にしたい。地域の皆さんの意見は良く理解した。などの発言もありました。

今回の施設の詳細計画は未確定とは言え、新聞記事などによりますと、1日当たり200トンもの廃プラを処理する予定との事で、年間7万3千トンもの廃プラが搬入される計算になります。岩手県内の廃プラ(産廃分)排出は、2019年で6万1千トン、内3万9千トンはリサイクルされているようですので、単純に5万1千トンは県外から搬入されることとなります。近隣県でも各県内等で処理が完結しているようですので、海外から搬入されることが大いに予測されます。これだけの廃プラを輸送するとなると、排気ガス問題が懸念されます。特にも文教地区だけに周辺でのトラック交通量の増加は看過できない問題です。この様な施設は、相去はもとより市内や県内にも不要だと思われれます。



一般質問する三宅やすし

第270回12月通常会議

12月議会で、三宅やすしは3つの項目について一般質問を行いました。その内容の一部を紹介します。(環状交差点については次頁)

プラスチックごみの減量について

- Q** 家庭系ごみのプラスチック類の排出量は横ばいだが、事業系ごみは新型コロナ禍の影響前から3%程度ずつ減少している。要因分析の意味で、収集事業者に対しアンケートまたは聞き取り調査を実施してはどうか。
- A** 今までに調査を実施した事は無く、今後、検討してみたい。
- Q** 指定ゴミ袋の包装袋もプラごみになるが対策は。また、ライスレジン(*)を使用したゴミ袋があるが使用の検討は。更に、ライスレジンの原料としての資源米の作付けも研究してはどうか。
- A** 指定ゴミ袋の包装は、他の方法を検討したがコスト高になり採用しなかった。次期ゴミ袋の切替え時に、再度検討する。現在のゴミ袋は10%のバイオマスポリを使用しているが、合わせてライスレジンの使用も検討してみたい。資源米の作付けは、普及してから考える。
- Q** プラスチックゴミの一括回収が法制化されたが影響と課題は。
- A** いわゆるプラ法により、今までのプラ容器、ペットボトル、プラ廃棄物、製品プラなども分別回収し再利用する事になるが、国から詳細がまだ示されていない。

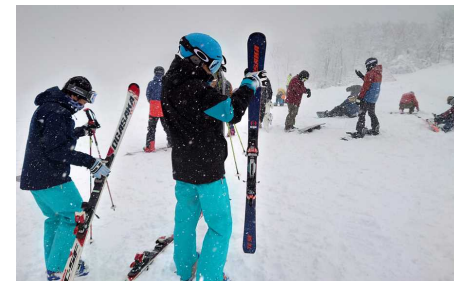
(*)ライスレジン：資源米などの非食用米を原料としたバイオマスプラスチック。石油系プラスチックに最大70%混ぜる事が可能。ゴミ袋の他、スプーンや箸、レジ袋や、生分解プラスチックと混合した農業用マルチシート等の製品がある。



ライスレジンを使用した新潟県南魚沼市の指定ゴミ袋

夏油高原スキー場の将来構想の構築について

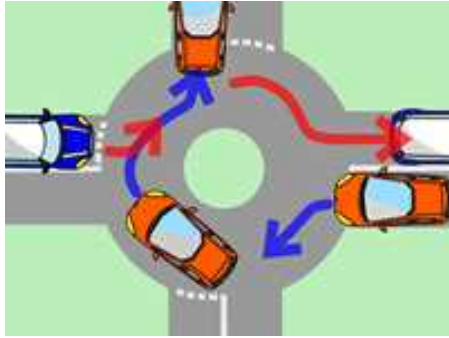
- Q** 岩手県立大との共同研究による、スキー場の経済波及効果の算出には、実測値ではなく推測値が使用されている理由は。また、実績値を入力して再算出は可能か。
- A** 第三者も検証しやすいように推測値を用いた。実績値を入力した計算は可能だと思うが、まだ実施していない。
- Q** スキー場の将来構想について、各種団体との意見交換の進捗状況は。またどんな意見が寄せられているのか。
- A** 観光団体や宿泊事業者、スキー団体、自治協など34団体と進めている。現在の運営会社の新たな取り組みなどに評価が高い一方、老朽化や温暖化の影響を懸念する声も多い。
- Q** 将来構想に向けた今後の予定は。
- A** 令和5年6月以降の次期運営事業者を選定する選考委員会設置要項を整備し、有識者やスキー関係者などに委員を委託して今年度内から開催していく。
- Q** 駐車場からのエスカレーターは、傾斜角30°の特注品であり部品供給もされなくなるようだが、これも含めた老朽化対策は。
- A** 現在、施設の維持管理計画を策定中であり、次期事業者が確定してから具体的な要望も盛り込んで進めていく。



R3.11.27のプレオープンに多くの利用者が訪れた夏油高原スキー場

議会のトピックス

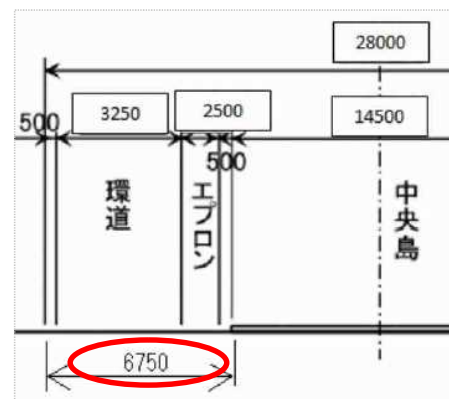
三宅やすしの一般質問のうち「環状交差点」については、使用開始後に問題が発生しそうでもあり、特に説明します。



環状交差点の通行イメージ
(当市の形状は三方向)



国のモデル設計値



当市の設計値



大型観光バス [旋回所有占有幅:
6.9m、最小回転半径8.7m]

環状交差点（ラウンドアバウト）について

環状交差点（ラウンドアバウト）とは、一般的には進入時に一時停止の必要がなく、同じ方向への合流と分岐により、安全に進行方向を変えられることが特徴とされており、特に正面衝突などの重大事故の防止がメリットとされている。また、多くのラウンドアバウトは構造上、信号を必要としないため災害時などの停電時でも、円滑な交通を維持できる効果もある。しかしデメリットとしては、交通量の多い交差点には適さないこと、速度低下による渋滞が発生しやすい場合もあること等が挙げられている。

現在、市道成田黒沢尻線で工事を進めている環状交差点は、三差路形状であり、普段は大型車や観光バスが頻繁に通行するような場所ではないものの、特に通勤時間帯には渋滞する程の交通量がある。

完成は令和4年度で、総工費が約2億6,700万円。更に、環道・エプロン部や流出入路をロードヒーティングで融雪する事で、電気料や点検費などで年間約370万円掛かる見込み。

これだけの費用を掛けてまで、環状交差点化する必要があったのか、疑問が残る。その理由の一つには、今まで通行できていた車両が通行できない恐れがあるからだ。具体的には、環道とエプロン部を合わせて、6.75m幅の設計値だが、これだと左図下の大型観光バスは、旋回に必要な所有占有幅が6.9mなので通行できない恐れがある。国の示したモデル設計値は7.5m幅であり、なぜこの設計値にしなかったのか疑問である。答弁では北上警察署との協議の結果で、充分通行可能との事である。更に、走行テストを実施してみるべきと提言したが、検討するとの答弁であった。

また、環状交差点内は“徐行”となるが、南北方向の制限速度は40km/hで、東方向の道路は60km/hであることから、この交差点で減速する事になり、渋滞の原因となる可能性が高い。特に凍結時はかなりの渋滞を覚悟しておかなければならないと思われる。

過去の一般質問や、予算審議の際にも環状交差点化の見直しを提言してきたが、ここまで工事が進んでしまえば、元に戻す事は出来ないと思われるが、標識等をきちんと整備し、事故や渋滞などによる弊害が発生しない事を願うものである。



三宅やすしの主な活動 [太字が議会関係]

10月20日 後援会通信No.53発行	11月16日 産業建設常任委員会	12月 6日 産業建設常任委員会
〃 産業建設常任委員会	〃 議会全員協議会	8-10日 一般質問
25日 岩手中部水道企業団議会	18日 議会全員協議会[議長招集]	13日 産廃発電施設反対委員会
26日 議員研修会[議会議務局]	〃 広報委員会正副委員長会議	14日 各派代表者会議
27日 相去地区市政座談会	19日 各派代表者会議	17日 12月通常会議[最終日]
28日 市民と議会をつなぐ会全体会	〃 議会全員協議会[議長招集]	〃 議会全員協議会
〃 広報委員会	〃 議会改革推進会議	22日 第271回12月臨時会議
11月 1日 北上地区ｸﾞﾙｰﾌﾟ組合安全講習会	23日 展勝地100周年記念式典	〃 広報委員会
4日 市民と議会をつなぐ会[南中]	24日 つなぐ会[飯豊中]	1月 5日 広報委員会
7日 仲町振興会館清掃	29日 第269回11月臨時会議	〃 市政功労者表彰式
10日 北上地区ｸﾞﾙｰﾌﾟ組合十日会	〃 広報委員会	12日 広報委員会
12日 議会全員協議会[議長招集]	〃 川岸商店会研修会	14日 広報委員会正副委員長校正
〃 北上ｽﾎﾟｰﾂ協会理事会	30日 市政調査会議員研修会	〃 北上ｽﾎﾟｰﾂ協会理事会
15日 南中学校学校運営協議会	12月 1日 第270回12月通常会議[初日]	19日 第272回1月臨時会議



0120-00-3268
0197-63-2200



☆☆☆三宅やすし市政報告・出前講座のお知らせ☆☆☆

三宅やすしの市政報告は、パワーポイント(スライド)を使って説明し、大変わかりやすいと好評です。各種集会などへ出前講座として伺いますので、下記までお気軽にお問合せください。

※開催は新型コロナウイルス禍の終息等が見通せてからとさせていただきます。

- 皆様のご意見をお待ちしております。下記あてにFAX、メール等でお寄せください。(電話は留守電となっています) また、三宅やすしが制作、運営しているホームページでは活動状況を詳しく報告しています。

※この後援会通信は、身体障害者授産施設「社会福祉法人自立更生会 北上アビリティセンター」にて、ダイレクト印刷しています。北上市二子町秋子沢214-7 TEL:0197-66-5400

バックナンバーの在庫については後援会へ

北上市議会議員 三宅やすし後援会

〒024-0051 岩手県北上市相去町相去28

電話:0197(67)1819 FAX:0197(67)4227

Email miyake12@gmail.com

URL <https://www.miyake12.com/>



三宅やすし後援会入会申込書

三宅やすし後援会では会員を募集しております。お知り合いの方など ご紹介ください。会費は無料です。

ふりがな 氏名	住所	電話番号	性別	生年月日
	〒		男・女	
	〒		男・女	